学校番号	3032B

令和８年度　専家庭

教科	専家庭	科目	(学)生涯発達論 A	単位数	１単位	年次	２年次
使用教科書	なし						
副教材等	教科作成のプリント						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

プリントによる学習です。青年期までの発達の過程を理解することで、福祉に携わる者としての基本的な知識を習得します。生涯発達の観点から自らの課題や社会の課題をみつめ、様々な理論を学びましょう。

2　学習の到達目標

・乳幼児期は、人間の発達段階において重要な時期であることや、青年期の課題である自己理解、心身の自立、人間関係の調整について理解する
・発達段階における課題やそれに対する解決策などを考えられる
・子どもの発達について、主体的に学ぼうとしている。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技術	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	保育の意義や方法，子どもの発達や生活の特徴及び子供の福祉と文化などについて体系的・系統的に理解するとともに，関連する技術を身に付けるようにする。	子どもを取り巻く課題を発見し，保育を担う職業人として合理的かつ創造的に解決する力を養う。	子どもの健やかな発達を目指して学び，保育に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
前期	子どもの発達の特性	1　発達とは何か 2　乳幼児期の大切さ 3　発達の共通性 4　発達の個人差 5　発達と環境	a:・子どもの発達の共通性・個別性について理解している。 ・子どもの発達は、身体の発育と心や身体の機能の発達が相互に関連してなされていくことを理解している。 ・子どもの心身の発達のために、保育の環境が重要であることを理解している。 b: 母子健康手帳などの資料を見ながら、発達の各側面が相互に関連し合っていることを読み取り、具体的に考察することができる。 c: 自身が保育者になることを想像しながら、子どもの心身の発達を促し、子どもの気持ちに寄り添うにはどうかかわるべきかなど、主体的に捉えようとしている。	考査 制作	レポート	ワークシート 制作

	乳幼児の発育と発達	1 乳幼児期の発育 2 乳幼児期の生理的特徴 3 乳幼児期の発達の特性	a: ・乳幼児の発育や生理的特徴が大人とは大きく異なることを理解している。 ・発達の各側面における過程を理解している。 ・発達の過程で子どもができるようになることを,月齢や年齢に応じて挙げることができる。 ・情緒や社会性といった心の発達に関して、親や保育者との愛着形成が重要であることを理解している。 b: ・月齢・年齢ごとの子どもの心身の発達の様子を理解した上で、子どもの個人差を考慮した適切なかかわり方を考察し、具体的に提案することができる。 c: 自身が保育者になることを想像しながら、子どもの心身の発達を促し、子どもの気持ちに寄り添うにはどうかかわるべきかなど、主体的に捉えようとしている。	考査 制作	レポート	ワークシート 制作

※ 表中の観点について a:知識・技術 b:思考・判断・表現 c:主体的に学習に取り組む態度